

（仮称）動物愛護センター整備に係る意見と市の考えについて

●：回答済、★：新規

項目	前回の意見等	市の考え
整備候補地	<p>○ 焼却施設を新設した場合、近隣への影響はあるのか。</p> <p>○ 総合保健福祉センターに支所を移転したい地元の声があるので、総保に動物愛護センターを整備することは納得できない。ポリテク跡地は良い場所。総保よりは反対運動が起こりにくい。</p> <p>○ 支所移転の地元希望や莫大な整備費用等から、現時点では迷っている。</p> <p>○ 膨大な費用はかかるが、将来性や人が集まる大きな施設整備の観点から、ポリテク跡地が良い。</p> <p>○ 最新鋭の焼却設備であれば、費用面からも総保センターに整備することで、理解が得られるのではないか。</p>	<p>● 焼却施設を整備する理解を得ることは、一般的には困難と考える。</p> <p>★ 内郷地区保健福祉センターには、福祉関係の申請等に必要な各種証明書を発行する窓口を設置するなど、利便性の確保に努めている。 出先機関については、市全体のバランスを考慮し、不断の検証を行っている。 (平成29年度、内郷支所耐震化工事完了)</p>
整備費用	<p>○ 整備費用の限度額はどの程度なのか。</p>	<p>● 現時点では限度額を決めていないが、国の補助金が乏しいなど、震災からの復興創生期にある本市では、少ない経費で効果がある整備を目指している。</p>
収容頭数 殺処分 焼却設備	<p>○ 猫の収容能力が少ないのではないか。</p> <p>○ 殺処分ありきなのか。</p> <p>○ 現在の焼却設備の耐用年数は、あとどの程度か。</p> <p>○ 岐阜のセンターでは、ガス室（殺処分施設）がなかったと思う。</p>	<p>● 猫の引取りは子幼猫が大部分を占める。子幼猫は一腹飼育を基本としているため、30ケージで多くの収容が可能となる。全ての猫を引取り飼育することは、容量から困難である。</p> <p>● 安楽殺など、殺処分をせざるを得ないこともある。</p> <p>● 平成23年度に釜を交換しているので、当面は使用できるとのこと。焼却頭数の減により、釜への負担も少ない。</p> <p>★ 殺処分実施、動物用焼却設備は別途あり。</p>
その他	<p>○ 土日祝日の開所を検討すべきである。</p> <p>○ 保健所はリーダーシップを発揮し、猫対策に取り組むべき。 (多頭飼育崩壊、不妊去勢手術の実施、譲渡情報の発信)</p>	<p>● 市民の来場を促すため、一部開所で検討している。</p> <p>● 不妊去勢手術の実施は、将来的は対応できるのではないかと思う。</p> <p>★ 多頭飼育の崩壊について議論を深めることは、本会の設置目的には合致しない。</p>